

地域医療連携課だより

SST(摂食嚥下サポートチーム)が発足しました

石狩病院では今年6月、SST（摂食嚥下サポートチーム）の活動を開始しました。

SSTとはSwallowing（摂食嚥下）Support（サポート）Team（チーム）の頭文字をとった略称です。嚥下とはモノを飲み込む事をいいます。

嚥下障害があると食べることに消極的になり、低栄養や脱水を引き起こす恐れがありますが、嚥下障害の原因は、加齢による筋力の低下、病気の後遺症、心因的要因など様々です。

当院のチームは、内科医で歯科医でもある津田医師をはじめ、看護師・放射線技師・管理栄養士等の多職種での視点から、嚥下障害の原因を追究し、それぞれの専門性を活かし、患者さんに応じた食事形態の選択、食事摂取・介助方法の提案、必要に応じて摂食嚥下機能の精査など、迅速な対応を行い、状態を改善させることで患者様の食べる楽しみを支援しています。



当院の入院患者様に限らず、外来及び在宅患者様に対して効果的な栄養療法を選択・実施できるようにしていくこともチームの目的の一つであります。些細なことでも構いませんので、ご相談ください。

このようなときは、ぜひご相談を

- ・食事に時間がかかるようになってきた（30分が目安）
- ・食欲がない
- ・摂食時にムせている
- ・飲み込みにくくなっている
- ・特別な姿勢の調整や食事摂取方法の環境調整が必要



相談窓口は地域医療連携課となります。ご相談内容をチームに伝え、必要時は受診や入院調整を行っていきます。

老人クラブ向け 出前講座を開催しました

7月28日（水）石狩市が行う出前講座を、石狩市花川中央地域包括支援センターが、石狩市内の老人クラブに向けて「今から始める認知症予防」と題し、開催しました。

はじめに、石狩病院看護部主任の久保倉が認知症の症状や物忘れとの違いなどを説明。その後、リハビリテーション課の作業療法士より、認知症の予防につながる簡単な運動や体操を紹介しました。最後に、センター長の多田智晃よりセンターの活動や機能についてお伝えしました。



感染対策と脱水に留意しながらの開催でしたが、熱心にメモを取られる方や、積極的に体を動かす方など、関心の高さを実感しました。

参加者からは「予防体操で頭を使うことの大切さを知りました」「認知症は大丈夫だと思っていたが、これからは少し気をつけていきたい」などのご感想をいただきました。今回の講座に参加された方が、ご家族や大切な方と「認知症」や「介護」について話し合うきっかけになれば幸いです。今後とも地域包括支援センターや病院より、地域へ情報発信の機会を作っていきたいと思っております。

【編集後記】今年の夏はコロナ禍での東京オリンピック開催となりました。

鍛え抜かれたアスリートの姿にパワーをいただき、テレビの先で繰り広げられる熱戦に元気をもらえた方もいらしたかと思います。

変異型のニュースにまだアフターコロナまでの道のりが長いと感じます。ワクチン接種が終了しても、感染対策を緩めることはまだできません。

まずは、手洗い・うがい・マスクを徹底し、一人一人の出来ることからやっていきましょう。
(石狩病院 てらだ)



社会医療法人 ピエタ会
石狩病院

住 所 〒061-3213 石狩市花川北3条3丁目6-1

T E L 0133-68-5001（直通）

F A X 0133-74-8614（代表）

メール i-msw@ishikari-hosp.jp

ホームページ <https://ishikari-hosp.jp/>

地域医療連携課 安西 寺田 丸山 千葉